



**International
Cadets'
Conference
2024**

【第27回 国際士官候補生会議】

目次

1. 学校長あいさつ
2. 実行委員長あいさつ
3. 防衛大学校とは
4. ICCとは
5. テーマ&プレナリーセッション
6. 招へい国紹介
7. 基調講演
8. 各大隊セッション

1. 学校長挨拶



防衛大学校長 久保文明

防衛大学校を代表して、海外からの参加者を歓迎します。この会議は過去2年間、オンラインで開催してきました。3年前に中止せざるを得なかったほどです。このような背景から、今年の私たちの幸せさがお分かりいただけると思います。

この会議では、異なる文化的背景を持つ士官候補生が、現在の国際情勢、リーダーシップ、陸軍士官学校でのリーダーシップ教育と訓練についてどのように考えているかについて多くのことを学び、多くの皆さんが、実際に自分の国に対する使命感、規律、献身を共有していることを理解していただければ幸いです。

この場をお借りして、我が国と自国民を守るという職業を選んだ国内外の皆様に、私なりの敬意と感謝の意を表したいと思います。その意味で、この会議は、単なる学生や若者の交流ではなく、国を守る決意を固めた皆さんの特別な交流です。

この機会に少しでも視野を広げていただきたいと思います。日本の士官候補生の皆さんには、皆さんから多くのことを学ぶことと思いますが、この会議をきっかけに、海外からの参加者の皆さんが、アジアの国際情勢、この地域や世界における日本の役割、日本の文化や社会全般について学ぶきっかけとなることを強く願っています。

最後になりますが、これから数日間、皆さん同士の会話や意見交換を楽しんでいただければ幸いです。

2. 実行委員長挨拶



第27回ICC実行委員長 佐藤天音

第27回国際士官候補生会議によろしくお越し下さいました。本会議の実行委員長を務める、4学年航空要員の佐藤天音です。約4年に渡るコロナウイルスのパンデミックを経て、この国際士官候補生会議もようやく対面開催を再開することができました。この会議は世界各国から学生が集い、国際情勢や安全保障について意見を交わすことのできる貴重な機会です。今や国際情勢は世界を巻き込んだ戦争の火種を抱えており、どの問題も予断を許さない逼迫した状況です。ロシアによるウクライナ侵略や、イスラエル・ガザ問題、台湾有事の可能性など、解決や回避しなければならない問題が山積みです。そんな危機的な現代だからこそ、私たちが交流を深め、意見を交わすことには大きな意義があると思っています。

この1週間に共に充実した時間にしていきましょう。

3. 防衛大学校とは



【設置目的】

将来、陸上・海上・航空各自衛官の幹部自衛官となるべき者の教育訓練をつかさどるとともにそれらに必要な研究を行う防衛省の施設等機関です。

【学科】

防衛大学校には、専攻分野に当たる14学科があります。入校後、1学年の末に人文・社会科学専攻学生は人社系3学科、理工学専攻学生は理工系11学科の中から、1つの学科を選択し、各学生の希望や成績などが考慮されたうえで、2学年進級時に要員と共に学科が決定します。

《理工学専攻》

- 応用物理学
- 応用化学
- 地球海洋学
- 電気電子工学
- 通信工学
- 情報工学
- 機能材料工学
- 機械工学
- 機械システム工学
- 航空宇宙工学
- 建設環境工学

《人文・社会科学専攻》

- 人間文化学
- 公共政策学
- 国際関係学

【訓練】

訓練課程は、各学年全員が同じ訓練を行う共通訓練と、第2学年において陸上・海上・航空要員に指定された後行う専門（要員）訓練に区分されます。訓練は毎週2時間程度実施される課程訓練と集中して実施される定期訓練をもって行われます。



共通要員



陸上要員



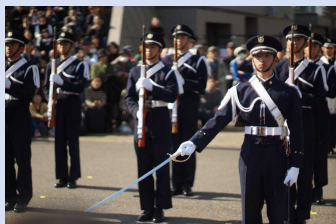
海上要員



航空要員

【校友会】

全ての学生は、いずれかの運動部等に参加することを原則としています。平日の授業終了後の校友会時間や休日に実施しており、スポーツ等を通じて他大学との交流も積極的に行っています。



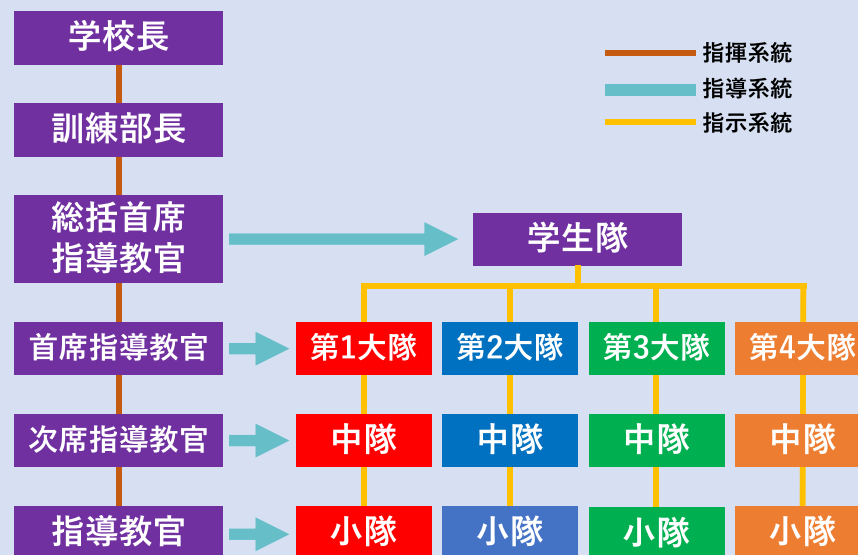
儀仗隊



短艇委員会

【学生隊】

学生隊とは、学生相互の理解を深め、融和団結を図り、学生の共同生活を円滑にし、あわせて学生に部隊指揮及び業務処理の基礎的能力を修得させることを目的とした全学生をもって編成される組織です。防衛大学校の学生は入校と同時に全員学生隊に所属することになります。



学生隊は、4個大隊からなり、1個大隊は4個の中隊、1個の中隊は3個の小隊で編成されています。
(1個小隊約40名)

4. ICCとは

ICCとは、国際士官候補生会議のことです。防衛大学校主催により、諸外国の士官候補生を招へいして国際会議を実施し、国際情勢及び安全保障に関する討議等を行い、各国と我が国の将来の安全保障につながる相互理解と信頼関係の促進を目的としています。この会議は、以下の2点を重視しています。



1. 学生に対する国際交流の機会の付与
(国際感覚の醸成)
2. 学生の国際的視野の拡大、国際情勢認識及び語学力の向上

----- 《過去10年間のテーマ》 -----

第17回	リーダーシップと士官候補生のあるべき姿
第18回	近未来～私たちが指揮官になるとき～
第19回	国境を越えた戦場～多国間協力とリーダーシップ
第20回	軍のリーダーシップにおける課題：変化する戦場
第21回	理想の指揮官になるために
第22回	変化する世界、変わらない信念
第23～24回	(新型コロナウイルスの世界的流行を鑑み中止)
第25回	変化する世界、変わらない信念
第26回	変容する安全保障の諸側面

5. テーマ&プレナリーセッション

～テーマ～

「変容する安全保障の諸側面」

本セッションは、翌日行われる本討議において円滑なコミュニケーションや議論を行うために、各国の立場や価値観についての共有を図ること目的としています。様々な議題について議論を行うためには、まずお互いの価値観について理解を深めることが何よりも重要です。どこに共通点があり、どこに違いがあるのかをプレゼン発表を通じて理解し合うことで、翌日の本討議ではより深い議論をすることが可能になるでしょう。

今年のプレナリーセッションのテーマは、会議のテーマと同様の「変容する安全保障の諸側面」です。戦争の形はより多様化しており、その時代の変化に沿って変革を行わなければ、自国の安全保障も国際的な安全保障も改善することはできません。今回の国際士官候補生会議では、これからの安全保障のあり方や新技術・新領域に対する対応の仕方を多角的な側面から議論をする必要があります。

プレナリーセッションでは、各分科会で設定された4つの視点から見た、現在の安全保障環境について各国の参加者にプレゼンをしてもらいます。このプレナリーセッションが、国際士官候補生会議に参加するすべての学生にとって実りあるものとなることを、心から願っています。



6. 招へい国紹介

- ・ オーストラリア
国防軍士官学校（統合）
- ・ カナダ
王立軍事大学（統合）
- ・ フランス
海軍兵学校
- ・ ドイツ
空軍士官学校
- ・ インド
国防大学（統合）
- ・ イタリア
陸軍士官学校
- ・ 韓国
空軍士官学校
- ・ イギリス
空軍士官学校
- ・ アメリカ
陸軍士官学校
海軍士官学校
空軍士官学校
ノースジョージア大学



7. 基調講演



池田 徳宏

富士通ディフェンス&ナショナル
セキュリティ株式会社
安全保障研究所所長
元海上自衛隊呉地方總監／海将

1981年防衛大学校卒。同年海上自衛隊入隊
護衛艦やまゆき艦長、第5護衛隊司令、第1護衛隊群司令、
護衛艦隊司令官、佐世保地方總監を歴任し呉地方總監にて
2016年に退官。

防衛省では海上幕僚監部防衛班長、指揮通信課長、防衛部
長、統合幕僚監部指揮通信システム部長等を歴任し弾道ミ
サイル防衛、サイバー戦、海上防衛等に関する政策立案に
携わった。

2018年から2020年に国家安全保障局顧問、2019年から
2020年に内閣府海洋総合政策本部参与会議MDA PT委員。
2021年から2023年にハーバード大学アジアセンター・シ
ニアフェロー。

現在、国際問題研究所「インド太平洋研究会」委員及び笹
川平和財団安全保障研究グループ「日米同盟のあり方研
究」委員。

最近の論考に「AUKUS - インド太平洋安全保障に対する
今日的意義」など。

8. 各分科会セッション



分科会テーマ 軍隊の役割

議長
前田 涼晟学生

要員：陸上
大隊：1大隊
学科：公共政策
校友会：剣道部

今年度の1大隊は、各国が軍隊について様々なことを発表し、相互理解を深めていきます。平時・有事の区別がなくなった今日、軍隊の役割を改めて理解する必要性が増してきました。そこで軍隊の国内での活動や、周囲を取り巻く環境等を紹介し、理解を深めるとともに軍隊とはどうあるべきかについて、議論を深めていきます。

また、理想の軍隊やそれを取り巻く環境についても議論し、軍隊がどうあるべきかについて理解を深め、任官後どうしていくべきか考えるきっかけをつくっていきます。

世界各国の士官候補生と熱い議論を交わし、交流を深め大いに価値ある士官候補生会議にするため、全力で取り組む所存です。



分科会テーマ 軍事組織と未来の 宇宙安全保障

議長
大野 杏樹学生

要員：航空
大隊：2大隊
学科：地球海洋
校友会：ハンドボール部

近年、宇宙空間の利用は官民双方のインフラとして重要性が不可欠です。すでに宇宙空間は「作戦領域」として位置づけられており、宇宙安全保障は日本をはじめとして課題となっています。宇宙空間の安定的利用を確保するための、宇宙安全保障に対する自衛隊や軍隊の技術的役割について議論を行います。防衛大学校はおよそ7割の学生が理系で、ICCの議題に上ることが多い法律や国際関係に親しみが少ない学生が多いです。

2大隊のテーマ、宇宙は新領域として安全保障分野で注目されているとともに、理科的な学問分野としても人気が高いです。より多くの士官候補生がICCに興味を持ち、宇宙について楽しく議論を深める中で、士官候補生として必要不可欠である国際情勢についての理解や多様な価値観を獲得してもらいたいです。



分科会テーマ
**LAWSが描く
未来の安全保障**

議長
朝間 将仁学生

要員：陸上
大隊：3大隊
学科：国際関係
校友会：剣道部

今年度の3大隊ICC議長を務める朝間将仁学生です。
今年度の3大隊ICCのテーマは、「LAWSが描く未来の安全保障」です。近年、無人機兵器やAI搭載型兵器が開発され、実戦投入されています。その中でもLAWSというのは、最も注目されている兵器の1つです。LAWSとは自律型致死兵器システムのことを言います。昨年11月1日に国連総会の第1委員会において、LAWSに関する議論が行われました。3大隊として、国際法の視点から分析し、具体的な状況を付与することでLAWSの戦闘要領及び運用の在り方について議論します。



分科会テーマ
**軍人と民間人
の関係性**

議長
宇佐見 祭学生

要員：陸上
大隊：4大隊
学科：応用物理
校友会：ハンドボール部

現在の安全保障環境はこれまでと比べ、宇宙、サイバー、電磁波といった新領域の登場や技術の高度化、国際秩序の変容等に伴い、その多様性と複雑性はより一層増しています。そのような中で、各国は軍民関係を再定義しなければならない状態なのではないかと私たちは考えています。刻一刻とその様相が変化する現代の戦争に対応していくためには、リクルート、先端技術、戦略といったあらゆる分野において様々な段階での軍民の絶えない協力関係が不可欠と考えます。

私たち幹部候補生は、将来の各国軍の中核となる事を見据え、軍民関係を考える素地を涵養しなければなりません。本分科会がその一助になる事を願い議題としました。